

# おかざき 議会だより

令和4年8月1日発行

vol.  
**213**  
2022

6月  
定例会

おかざき未来“夢”プロジェクト「健康寿命延伸へ!!」ラウンドテーブル  
(愛知学泉大学)



- P02 一般質問
- P11 主な議案 他
- P12 委員会審査
- P13 討論
- P14 審議結果 他
- P15 おかざき未来“夢”プロジェクト
- P16 9月定例会予定 他

(P15に表紙写真の関連記事あり)

# 一般質問

6月定例会では、31人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目の概要について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議事録及び議会映像をご覧ください。

一般質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

## 野島 さつき (公明党)

・高齢者福祉

## 廣重 敦 (自民清風会)

・脱炭素に向けた愛知環状鉄道の利用推進  
・本市のアウトプットの最大化に向けた人事施策

## 原田 範次 (自民清風会)

・農業振興ビジョン2030

## 大原 昌幸 (無所属)

・人口減少問題

## 加藤 義幸 (自民清風会)

・地域ブランドの活用による本市のPR  
・河川堤防道路の管理

## 築瀬 太 (自民清風会)

・病院事業  
・保健医療行政

## 蜂須賀 喜久好 (自民清風会)

・災害対策

## 酒井 正一 (自民清風会)

・東部地域

・耳が聞こえにくい高齢者に対する支援

## 土谷 直樹 (公明党)

・大規模災害時の活動

## 新しい教育の取組

## 杉浦 久直 (自民清風会)

・住生活基本計画

## 矢作川避難計画

## 井村 伸幸 (民政クラブ)

・公民連携

・「どうする家康」の活用

## 磯部 亮次 (自民清風会)

・観光推進

## 野本 篤 (自民清風会)

・障がい者による情報取得及び意思疎通

・障がい者相談支援事業

## 青山 晃子 (チャレンジ岡崎)

・子育て支援の実証実験

・こどものマスク着用

・コロナ禍における生活困窮者支援

## 畑尻 宣長 (公明党)

・岡崎さくら電力

・水道管路の老朽化対策

・通常学級に在籍する特別な支援を必要とする子の対応

## 野々山 雄一郎 (自民清風会)

・自転車・歩行者にやさしいまち

## 加藤 嘉哉 (民政クラブ)

・運転免許証の自主返納

・成年後見制度の利用促進

## 杉山 智騎 (チャレンジ岡崎)

・本市の運動場

・マラソン

## 中根 善明 (無所属 日本共産党岡崎市議団)

・市民の命と健康を守る保健所の体制

・小中学校の体育館へのエアコン整備

・学校給食

## 柴田 敏光 (民政クラブ)

・公共施設

・市有地

## 三宅 健司 (民政クラブ)

・上下水道事業の業務効率化とサービスペルの向上

## 井町 圭孝 (民政クラブ)

・子供の遊び場

・みんなでキレイにやろまいキャンペーン

## 鈴木 雅子 (無所属 日本共産党岡崎市議団)

・JR岡崎駅周辺整備

・高齢者が安心して暮らせる施策

## 近藤 敏浩 (チャレンジ岡崎)

・新型コロナウイルスワクチンの小児(5~11歳)接種

・下水道の汚水整備

## 佐藤 哲朗 (民政クラブ)

・市民の力で桜を元気に

・保育士不足

## 鈴木 静男 (自民清風会)

・ドローンの活用

## 荻野 秀範 (自民清風会)

・ゼロカーボン施策

## 小田 高之 (チャレンジ岡崎)

・公民連携

・教育行政

・統計

## 前田 麗子 (自民清風会)

・介護予防の取組

・介護離職防止(仕事と介護の両立支援)

## 原 紀彦 (民政クラブ)

・デジタルトランスフォーメーション

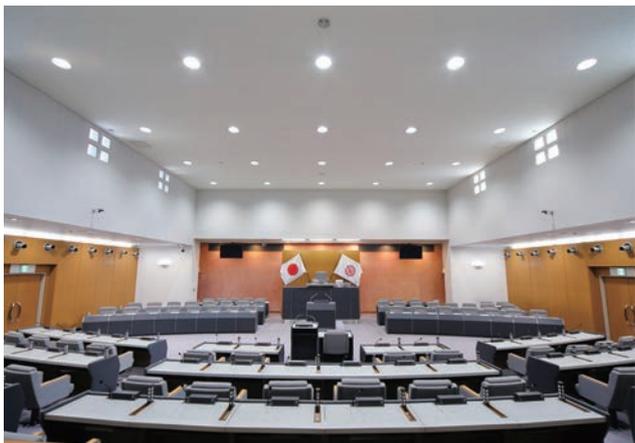
## 柳 賢一 (無所属)

・共生社会の実現

一般質問とは

・議案とは別に、事務の執行状況や将来の方針など、市政全般についての報告や説明を求め、疑問を問いたすものです。  
 ・岡崎市議会では6、9、12月定例会で行っています。

今定例会では、一般質問を行った全ての議員が一問一答方式により質問しました。



高齢者福祉  
野島 さつき (公明党)

**問** 見守り支援における、緊急通報システムの詳細は。

**答** 65歳以上の独り暮らしの高齢者の自宅固定電話に設置し、

救護を必要とする場合にボタンを押せば、事業者に通じて速やかに

救護を行うものである。また、事業者から月1回のお元氣コールの

発信により、安否確認等も行う。

**問** 緊急ボタンがあっても押せない状況も考えられる。安否確認センサーなどのサービスの導入が必要と考えるが、見解は。

**答** 他市の状況を注視し、様々なサービスを検討したい。

**問** 介護をする側の急病など、真に緊急対応が求められる場合における本市の支援体制は。

**答** 地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護サービス

事業所、行政などが連携して対応している。今後も、介護認定の有

無に関わらず、関係者・関係機関が行う対応を支援していきたい。



(1)愛知環状鉄道の活用  
(2)人事施策  
廣重 敦 (自民清風会)

**問** (1)愛知環状鉄道を使った、本市の名所を数カ所回っておいしいものを食べて帰っていたら

どのような、半日コースの企画が必要だと考えるが、見解は。

**答** 本年度は、歴史、産業、グルメなど、テーマ別に活用可能な愛環沿線の観光マップの作成

を予定しており、提案された企画も実現に向けて愛知環状鉄道へ提

案していきたいと考えている。

**問** (2)一般的に組織が増えると実務をする人が減り、マネジャーが増えるため業務効率率が下がると言われている。定期的に検証が必要だと考えるが、見解は。

**答** 本市でも課や係の数の増に伴い、部署によっては実務をする職員が減っている現状も見られる。各所属とのヒアリングを活用し、必要に応じた組織の統廃合

を行うことで、限られた経営資源を最大限に活用した効率的な業務執行体制の構築に努めていく。

**問** 令和2年度の学校給食で使

用した生鮮野菜及び果実の39品目のうち、品目別の市内産の割合は太もやしと巨峰100%、な

す36%、葉ネギ17%、なばな15%、その他5品目が10%から1%であり、10品目の使用にとどまっている。地消地産が進まない理由は。



地消地産と学校給食  
原田 範次 (自民清風会)

**答** 市内産の野菜を使用しているため、事前に出荷見込みを確認し、出荷時期や出荷量に合わせ

て発注を行っている。市内産の流通量が多くないことや天候等により出荷時期がずれたり、出荷量

が少なかつたりすることがあるため、市内産を使用する品目や使用量が限られてしまう状況である。

**問** 地消地産を進める方法として、他市では学校給食で取り

組みを始める例があるが、見解は。

**答** まずは安定的に食材を調達

できなければならぬ。そのため課題をオール岡崎の体制で

整理していきたい。

3 おかざき議会だより | vol.213



人口減少問題

大原 昌幸（無所属）

**問** 千葉県流山市などでは、駅近辺に送迎保育ステーション

を設置して、朝と夕方に駅から保育園まで園児をバスで送迎する事業を行っている。駅で子どもを預け、そのまま会社に向かえることから、近年、取り入れている自治体が増えている。本市でも検討していくことを提案するが、見解は。

**答** 送迎保育ステーションは、

通勤で駅を利用する保護者の利便性が高く、近場の保育所に入所できなくても保護者の送迎負担を軽くすることで郊外の保育園を選択できるため、有効であると考える。一方で、駅周辺における一時的な保育施設の確保、対応する保育士の確保、送迎バスに長時間乗車する園児の負担や駐車スペースの確保などの課題がある。まずは、待機児童の受け皿となる保育園の確保が市全体で必要であると考えており、今後、他市の事例を踏まえて研究していきたい。



地域ブランドの確立による本市PR

加藤 義幸（自民清風会）

**問** 市民の財産である岡崎公園の価値を磨き上げるとともに、

岡崎の原点が地域ブランドの筆頭でもある岡崎城であることを明確にして、岡崎の価値を世界に発信する機会とするため、岡崎城公園へ名称を変更してはどうかとの意見もあるが、本市の見解は。

**答** 公園の名称変更のように、

将来に残るものについては、しっかりと継続して検討すること、真の本市のブランド力の向上、市民の古里への愛着・誇りが醸成されると考える。まずは市民や事業者に対しアンケート調査を幅広く実施し、意見を聴いていく。

**問** 国が新たな地方版図柄入りナンバープレートの募集を開始したが、本市は導入するのか。

**答** 地方版図柄入りナンバープレートは、

シティプロモーションの大きなPRツールになると考えている。導入に向けた検討を進めていきたい。



市民病院の基本方針

築瀬 太（自民清風会）

**問** 本市を含む医療圏を取り巻く環境が大きく変化している

中で、4月から市民病院の新院長に就任した小林院長が目指す「信頼され、選ばれる病院」に向けた取り組みについて伺う。

**答** 地域から「信頼され、選ばれる病院」となるため、

SNを活用した情報発信の他、患者の満足度向上に向けて従来の印象を問うアンケートから患者経験価値を具体的に尋ねる方式に変更することで問題点を洗い出し改善につなげるとともに、患者の利便性向上に向けて（仮称）患者サポートセンターの設置を検討している。また、「病院文化の変革 五つの柱」を掲げ、職員のやりがい度向上に努めることで、離職防止や優秀な人材の確保につなげたい。当院は多くの課題を抱えているため、一つ一つ着実に解決し、この地域になくしてはならない病院で在り続けられるよう日々努力していく。



ライフラインの被害想定と復旧予測

蜂須賀 喜久好（自民清風会）

**問** 5月の明治用水頭首工での漏水事故では、ライフライン

である上水、工業用水及び農業用水の取水量が大幅に減少し、経済と農業に多大な影響を及ぼした。地震もライフラインに大きな影響をもたらすが、南海トラフ地震の被害想定は、従前の東海・東南海地震からどう変わったのか、ライフラインの復旧予測と併せて伺う。

**答** 本市の南海トラフ地震被害

予測調査結果報告書と東海・東南海地震の被害予測を比較すると、上水道の断水が約6万3千人から約33万4千人に、下水道の機能支障人口が約2500人から約25万8千人になるなど、大幅に拡大している。復旧予測は、7日後に上水道の断水率が15%、下水道の機能支障率が3%で、1カ月後には共に全面復旧を想定している。ただし、今回の明治用水の事故のように想定外の被害の拡大も想定しておく必要があると考えている。

※患者経験価値：患者が医療サービスを受ける中で経験するすべての事象



(1)桑谷展望園地  
(2)耳が聞こえにくい高齢者  
酒井 正一 (自民清風会)

**問** (1)桑谷展望園地が自然ふれあい地区に指定されたが、ごく一部にマナーの悪い利用者がいると聞く。本市の対応は。

**答** 昨年度、4カ国語の注意看板を設置した。また、今年度は監視カメラを設置しており、抑止効果となることを期待している。自然ふれあい地区として指定した上で、安心して利用できるよう、適切に管理をしていきたいと考えている。

**問** (2)耳が聞こえにくい高齢者に対する本市の支援内容は。

**答** 高齢による難聴を放置すると、要介護状態に至るリスクが増加することなどが多くの調査研究で報告されている。本市では認知機能の低下を防ぐため、介護予防教室や短期集中型通所サービスなどを実施している。耳の聞こえと高齢者の生活の質とは非常に関連性があることから、施策の更なる充実に努めていきたい。



新しい教育の取り組み  
土谷 直樹 (公明党)

**問** 国が進める小学校高学年における教科担任制とは別に、本市の小学校でも独自に教科担任制を行っているのと聞いたが、どういふものか。

**答** 国や県が配置する専科教員を活用したり、教員同士が専門教科を生かして授業担当を分担や交換したりするなど、学校運営上有益であれば、体育や音楽、図工等の教科において、学級担任間の部分的な教科担任制を行っている学校もある。このような学級担任間の授業交換による部分的な教科担任制は、教員の得意な授業を交換することにより、授業準備等の時間に余裕が生まれ、授業の専門性が高まることが期待できる。実際に行った学校の教員からは、学級だけではなく学年全体の子どもを見ることができ学年経営に役立つようになった、教材研究が深まった、来年度も行いたいという声が多いと聞いている。



矢作川避難計画での避難場所の確保  
杉浦 久直 (自民清風会)

**問** 矢作川避難計画では、20万人の市民の避難が必要とされる。車中泊避難所3万台分の確保目標に対し、現在の確保状況は。

**答** 約2万台分を確保している。目標とする3万台分の確保に今後も継続して努めていく。

**問** 風水害時における南公園の位置付けは。

**答** 公園全域が矢作川浸水想定区域外にあることから、矢作川避難計画発動時の車中泊避難所として、活用の協議を始めていく。

**問** 上地の岡崎医療刑務所を他市へ移転する話があると聞く。仮に移転となった場合、防災施設として有効活用をする考えは。

**答** 矢作川避難計画では、浸水想定区域外の避難場所確保が重要な課題となっている。仮に市が新たな公共用地を取得した場合には、あくまで2次的な活用となると思うが、防災施設についても有効な活用方法を検討していく。



公民連携の現状と今後  
井村 伸幸 (民政クラブ)

**問** 民間企業等との連携協定締結後の進捗の確認方法は。

**答** 基本的には担当課において連携先と具体的な連携事業の実施運営について協議をし、その中で進捗を確認している。

**問** 公民連携協定を、今後どのようにしていくか伺う。

**答** 分野にとらわれず、効果が期待できる協定の締結を推進していくとともに、事業者、金融機関及び行政が、様々な地域課題について情報交換や共同での調査研究、事業者同士で課題解決に資する事業を検討するなど、多様な主体が議論や交流を図ることができる公民連携プラットフォームの設立を予定している。また、協定の締結に限らず、様々な手法を選択肢としながら、プラットフォームの運営等により公民連携の機運の醸成を図ることで、形だけの連携とならないよう、事業化へつなげる流れを生み出していきたい。



観光推進

磯部 亮次 (自民清風会)

**問** 来年度の観光入込客数の目標値と経済効果の見込みは。

**答** 大河ドラマの放送開始を見据え、560万人、265億円と見込んでいる。コロナ前の平均より100億円増に近づきたい。

**問** 来年の桜まつり等での渋滞対策の方針はあるか。

**答** 鉄道を利用したパークアンドライドなどの調査・検討をしている。市中心部への車の進入を少しでも少なくしたい。

**問** 例えば中央総合公園からシヤトルバスを出し、岡崎公園やりぶらの駐車場を閉鎖してその乗降場にする事や、一般車両の進入禁止エリアを作り、車両進入を極力防ぐ取り組みなどはどうか。

**答** 駐車場の閉鎖は検討に値する。また、パークアンドライドや進入禁止エリアの導入は、警察や地元、配送事業者などの道路利用者との調整や合意形成が必要なため、慎重に検討していく。



障がい者の情報取得及び意思疎通

野本 篤 (自民清風会)

**問** いわゆる障害者情報アクセスシビリティ・コミュニケーション

**答** ヨン施策推進法が今年5月の国会で制定された。本市における更なる施策の実効性や予算措置等を考えると、早期のコミュニケーション支援条例の制定を期待するが、見解は。

**問** コミュニケーション支援条例の制定は、本市としても取り組む必要があると考えているため、今年度の第1回障がい者自立支援協議会において、策定スケジュールの案を提示した。障がいには、聴覚障がい、視覚障がい、内

部障がい、知的障がい、精神障がいなど様々な種別があり、年齢や生活状況等も一人一人異なる。条例の制定に当たっては、それぞれの障がいの当事者、その支援者、更には障がいを持たない市民などから、市民参加型の手法を活用しながら幅広く意見を聴き、丁寧に策定していきたい。



(1)子育て支援の実証実験 (2)こどものマスク着用

青山 晃子 (チャレンジ岡崎)

**問** (1)実証実験後に集まった声は、市政にどう反映されるか。

**答** 意見を集約し、本市の課題として市長を始め担当各課で情報共有する。子育て世帯に寄り添った施策を展開し、子育て環境の改善に取り組んでいく。

**問** (2)学校における現在のマスクに関する指導内容は。

**答** 国の衛生管理マニュアルに沿った指導を行うとともに、夏場は熱中症対策を優先するように指導をする。また、マスクの着脱を考えた話し合ったりする時間を設けるなど丁寧な指導を行い、自分で考え判断してマスクの着脱ができる子どもを育成していく。

**問** マスクの着用ルールや、差別に関する保護者等への周知は、どのように考えているか。

**答** マスク着用についての考え方を含めたQ&Aを作成した。各学校へは具体的な周知の方法を示し、保護者への周知を依頼した。



特別な支援を必要とする子どもへの対応

畑尻 宣長 (公明党)

**問** 通常の学級に在籍する支援が必要な子どもに対して、どのような対応をしているのか。

**答** 主な支援として、ユニバーサルデザインを取り入れやチーム学習に取り組むなどの授業の工夫、通級指導教室の設置、教員補助者や学生支援員などの人的配置の三つがある。各校が子どもの実態把握で得られた情報を基に支援の方法を検討し、保護者と相談の上で支援を行っている。

**問** 現在、紙で利用している療育支援につながる教材などは、アプリを活用することで更なる効果が期待できると考えるが、ICTを使った取り組みは。

**答** タブレット端末は指先で直感的に操作できることから有効なツールとされているため、端末を活用した授業を積極的に行っている。今後は、認知機能トレーニングアプリを導入して、児童生徒の支援を行っていく予定である。



**自転車・歩行者に  
やさしいまち**  
野々山 雄一郎（自民清風会）

**問** まちのにぎわいは集い歩く人が多いことである。徒歩・自転車・公共交通利用促進につながる「どうする家康」限定プレミアム御朱印めぐりなど、脱自家用車の観光の仕掛けづくりの見解は。

**答** 大河ドラマの放送に向けて御朱印やグルメ、交通などの観光素材を掛け合わせて、観光客の満足度を高めるコンテンツの開発を進めている。鉄道やバスを利用した各ツアーも企画している。

**問** 利用しやすいバスの運賃制度として、例えば高齢者バスの購入補助の更なる増額や、利用の少ない昼間の運賃割引の考えは。

**答** 購入補助の更なる増額は、今年度の補助増額の効果を見極めて検討する。また、昼間の利用促進を図ることで、観光などの新たな移動需要を生み出すことも期待されるため、既存運賃制度の改善をしていく中で、交通事業者と検討していく。



**運転免許証の自主返納**  
加藤 嘉哉（民政クラブ）

**問** 免許証を返納した場合、返納後の移動手段が懸念事項となるが、本市の考えは。

**答** 地域住民、交通事業者、行政が役割を分担し、連携して取り組むことが必要との思いから、令和4年3月に地域公共交通計画をまとめ、地域主体による交通手段の拡充を進めている。流れとしては、地域で検討協議会を立ち上げて利用しやすい交通手段を話し合い、アンケート調査等でニーズを把握し、運行計画を取りまとめ、実証運行を開始する。その結果を検証し、運行計画の見直しや利用促進に継続的に取り組んだ後に、本格運行の開始となる。地域に合った公共交通の実現には手間も時間も掛かるが、地域の積極的な取り組みを全力で応援していきたいと考えている。こうして出来上がった地域主体による交通手段が、運転免許証を返納する際の安心につながることを期待している。



**六名公園の  
屋外トイレの改修**  
杉山 智騎（チャレンジ岡崎）

**問** 六名公園は、子どもから年配の人まで、幅広い人々が毎日のようにたくさん利用している。公園内には昭和49年に設置された古い屋外トイレがあるが、いつ改修するのか。

**答** 六名公園の屋外トイレは鉄筋コンクリート造で、標準的な耐用年数は約50年といわれている。日常の管理業務の中で異常があれば修繕で対応し、トイレの機能を保つようにしている。建築物の改修に当たっては、予防保全的な対応により建物寿命を延ばすことができないため、六名公園と同等規模の公園を対象とした公園施設の長寿命化計画の策定を進めている。老朽化が進むトイレは多数あるため、施設の状態を整理し、修繕方法や更新時期、優先順位を決めていくことになる。六名公園の屋外トイレは最も古く、劣化も著しいことから、最優先に更新する方向で対応していく。



**学校給食**  
中根 善明（無所属 日本共産党 岡崎市議会）

**問** 本市では令和2年4月から9月まで小中学校の給食費の無償化を実施したが、その際に本市が負担した額と日数は。

**答** コロナ対策として6月から9月までの間で60日間、無償化を実施した。負担額は、小学校分が3億1813万4000円、中学校分が1億7125万6630円、合計で4億8938万7030円である。児童生徒1人当たりの軽減額は、小学校が約1万4千円、中学校が約1万7千円である。

**問** 国の地方創生臨時交付金を給食費に充てることのできるなどの通達が出たが、これを活用する考えはあるか。

**答** 交付金が活用できる事業の一事例として、物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減が示された。活用については、関係部局との情報共有など連携を緊密に図りながら、実現を目指していきたいと考えている。



セルビ跡地の活用

柴田 敏光 (民政クラブ)

**問** セルビ跡地は駐車場として利用されているが、有効な活用であるとは考えにくい。QUR UWA戦略の展開が具体化するまで駐車場の暫定利用を続けるとのことだが、進捗状況は。

**答** セルビ跡地は議決を受けて購入したものであり、大変価値のある資産であると認識している。QUR UWA戦略のプロジェクトとして再整備された籠田公園や乙川河川緑地などでは、週末を中心に地元自治会や民間事業者主体のマルシェや音楽イベントなどが盛んに行われ、会場やその周辺は大勢の人でにぎわっている。りぶら周辺においても、今年度から地元自治会が中心となり夏祭りが開催される予定と聞いている。今後、状況を把握し、どのような用途の利用がふさわしいか、市民を始め多くの意見を聴き、議会にも諮りながら、にぎわいの創出などに努めていきたいと考えている。



上下水道事業の業務効率化とサービスの向上

三宅 健司 (民政クラブ)

**問** なぜ民間と連携協定をして業務改革に取り組むのか。

**答** 協定による業務の見える化は、業務改善だけでなく、法令順守や内部統制の強化、更には働き方改革などにも活用でき、BPRと呼ばれる業務改革やDXの実現が期待できる。そして今回の取り組みの中で一番重要なのは、生み出された効果を単にコストや安易な人員の削減につなげるのではなく、サービスのレベルの向上、技術の継承、経営的感覚を備えた人材の育成につなげることである。

**問** 今後、目指すものは何か。

**答** 暮らしに不可欠なライフラインとして、将来にわたる事業継続が大きな使命である。先人が積み上げてきた大切な資産を次世代へ引き継ぐため、経営的な視点をより強化し、基本理念である「上下水道新時代 暮らしを守る 次の100年へ」の実現を目指し、取り組みを進めていく。



子供の遊び場

井町 圭孝 (民政クラブ)

**問** 矢作地区の都市公園に、雨天時に子どもたちが遊べる大屋根施設を造ることができるか。

**答** 公園内は、広場、遊具、園路、植栽といった本来必要とされる公園の機能を損なわないように、都市公園条例で建築物等而建てられる面積の割合を定めており、通常は2%までであるが、大屋根のように壁が無く開放性が高いものは10%を上限としている。また、公園によっては、文化財保護法や河川法などの制約を受ける場合もある。矢作地域での大屋根施設設置の可能性であるが、これらの制約に加え、既存公園の設置場所や居住人口の分布を考えると、現時点では地域の中で最も面積が広い矢作公園が有力な候補である。なお、限られた公園区域内で大屋根施設を設置する場合には、既存施設との取捨選択をして、多くの市民から賛同の得られる公園づくりをしていきたいと考えている。



JR岡崎駅のにぎわい・西口駐輪場の有料化

鈴木 雅子 (無所属 日本共産党 岡崎市議会)

**問** 東口周辺には、喫茶店や本屋、ファストフード店などが進出しておらず、日常的なにぎわいを感じられない。現状のまぢづくりでよいと考えているのか。

**答** 岡崎えきまえ発展会の会員数の増加とともに、店舗数も増加している。待ち合わせ場所として利用するような店が少ないことは承知しているが、イベントなどを行った際のにぎわいは確認できている。引き続きイベントが行われることで、にぎわいに敏感に反応した事業者による民間投資につながるのではないかと考えている。

**問** 西口で無料駐輪場の存続を全く考えていないのか。また、「市民の負担が増える」などの声に、どのように応えていくのか。

**答** 有料化により、防犯性、安全性、利便性といった課題が解決できると考える。しっかりと周知し、理解を得た上で利用をしてもらいたいと考えている。

※1 BPR：業務プロセス全体の抜本的な見直しと再構築のこと

※2 DX：ICT（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること



真伝地区における  
下水道の污水整備計画  
近藤 敏浩 (チャレンジ岡崎)

**問** 今年度から真伝地区の測量設計を実施することだが、整備計画の概要を問う。

**答** 真伝地区は、中央に位置する吉祥南公園辺りを境に東側、西側に下っていく地形となっているため、排水方法が東西区域で異なる。西側区域では、地形勾配に沿って自然流下方式で、地区の西を通る県道東大見岡崎線の地下にある稲熊北污水幹線に直接排水する計画である。また、東側区域では、地形勾配に沿って地区の東を通る市道岡崎環状線の地下に一度集めた後に、ポンプ圧送により西側区域の污水管を經由して稲熊北污水幹線に排水する計画である。

**問** 真伝地区の污水整備に関して、整備スケジュールを問う。

**答** 比較的早くから住宅の建築が進み、地元との調整も十分にできている西側区域のうち、既設の污水幹線への接続部から、測量設計、工事の順に進めていく。



保育士不足の原因と  
今後の取り組み  
佐藤 哲朗 (民政クラブ)

**問** 保育士が不足する原因について、分析はしているのか。

**答** 急激な保育の受け皿の拡大に対し、保育に当たる人材の確保が追いついていないことが原因と考えている。人材確保に向けた取り組みを行っているが、低年齢児の入所児童数の増加や延長保育の利用が多いことなどの理由で必要な保育士の人数が増えており、不足を生じている状況である。

**問** 今後の取り組みで検討していることはあるのか。

**答** 勤務する保育士が継続して働けるよう、育児休業の取得や、育児休業から復帰する際には部分休業や育児短時間勤務の取得を推奨している他、育児休業から復帰する保育士を対象にした研修を行っている。この他、離職防止に向けて元園長経験者が若手保育士の巡回指導も実施している。より効果的な方法を研究しながら、今後も引き続き取り組んでいく。



ドローンの活用  
鈴木 静男 (自民清風会)

**問** 本市におけるドローン活用の体制と、今後の取り組みの考えを問う。

**答** ドローンの活用を押し進めていくには体制づくりが必要であり、現在、その準備段階として、若手職員で構成する庁内のプロジェクトでドローンの活用方法などの検討を行っている。先進事例の調査や積極的な民間企業との意見交換を通して、従来の活用方法にとらわれない自由な発想で、様々な提案を期待しているところである。本市としても、民間企業と手を携えて継続的に協議を実施し、総合的なドローン活用の推進体制の必要性が確認された段階で、組織を構築したいと考えている。そして、いち早くその取り組みを積極的にを行い、将来の主役となり得るドローンの活用を推進していきたいと考えている。



ゼロカーボン施策  
荻野 秀範 (自民清風会)

**問** 脱炭素社会達成のためには二酸化炭素の排出量の削減も必要であるが、吸収する森林の整備も重要である。二酸化炭素は、人が生活すれば発生するものであり、これからは有効な資源として活用していくことも必要である。本市ならではの二酸化炭素活用施策を地球温暖化対策実行計画に盛り込む必要があると考えるが、見解は。

**答** 植物には光合成により二酸化炭素を吸収する、すなわち植物体内に固定する機能があり、この能力や性質に注目すれば、二酸化炭素を単に厄介なものと考えたのではなく、植物成長のための資源と捉えることもできる。農業分野では、生産性の向上を目的に二酸化炭素発生装置を用いたハウス栽培が行われている事例もあることから、地球温暖化対策実行計画への位置付けや具体的な施策について検討していきたい。



**運動部活動の地域移行**  
小田 高之（チャレンジ岡崎）

**問** 国の検討会議で休日の運動部活動の段階的な地域移行が提言されたが、本市の取り組みの現状と、今後の見解を伺う。

**答** 本市では、休日の部活動の在り方を考え、主に部活動のスリム化と、外部指導者の活用に取り組んできた。部活動のスリム化では、土曜日か日曜日のいずれかを休業日とし、活動時間を3時間程度とすることで、子どもにとって自由度の高い時間をつくりだした。また、外部指導者の活用では、教職員以外の地域の方に休日の部活動の指導に携わってもらうことで、地域の指導者の裾野を広げてきた。国の検討会議が提言した部活動の段階的な地域移行は、部活動の在り方の根本的な変革を迫るものである。地域移行に向けては、広く保護者や地域の理解を得ながら、関係部局とも議論を慎重かつ迅速に進めていくことが必要であると考えている。



**介護予防の取り組み**  
前田 麗子（自民清風会）

**問** 岡崎ごまんどく体操は、開始から7年目を迎えるが、現在の実施状況と今後の展望は。

**答** ごまんどく体操の活動団体数は令和3年度末まで205団体であり、9年度末までに400団体を目標に取り組んでいる。万人の感染予防対策を講じ、目標に向け、新規活動団体の立ち上げ支援に力を注いでいきたい。目標の400団体到達後も安定した支援ができる体制づくりと、住民主体であるという団体の強みを生かすことができる仕組みを考えていきたい。超高齢化社会を迎え、高齢者にとって身近な地域での通いの場や地域に根差した介護予防はますます重要となってくる。今後も安定した事業の継続を目指し、地域包括支援センターや岡崎リハビリテーションネットワーク、団体の代表とともに、運用の在り方を協議し、マンパワーの充実も図っていききたいと考えている。



**デジタルトランスフォーメーション(DX)**  
原 紀彦（民政クラブ）

**問** おかざきDXビジョン基本方針に基づき、町内会を軸にしてデジタル活用を展開していくとのことだが、今年度の具体的な取り組みを伺う。

**答** 現在、556町内会の総代に対して、スマートフォンなどのデジタル機器の利用や、町内会活動へのデジタル活用の意向などについてのアンケート調査を行っている。その結果、デジタル化に関心の高い町内会に対し、今後、ヒアリングを行った上で、モデル町内会として選定をし、通信環境の試行導入を始め、町内会のニーズに沿った活用支援に取り組んでいく。また、国のデジタル活用支援推進事業として、7月からスマートフォンでの操作講習会が開催される予定である。これに加えて、本市でも各町内会の希望に応じた操作講習会を開催し、今後の町内会活動に活用されるよう支援を進めていく。



**副次的な籍を置く取り組み**  
柳 賢一（無所属）

**問** 副次的な籍を置く取り組みは、特別支援学校に通う児童生徒が、自宅近くの小中学校にも籍を置き、地域の一員として学び合う制度である。この制度には、学校・学級便りや手紙等の交換を主とする「間接的な交流」と、特別支援学校の児童生徒が地域指定校の授業や行事に参加する「直接的な交流」があるが、本市の現状と今後の方針について伺う。

**答** 現在、本県では県立特別支援学校等に在籍する児童生徒が、同時に市立小中学校にも副次的に籍を置く制度は行っていないと理解している。今後、副次的な籍について、県から正式な取り組みの依頼等があれば検討したいと考えている。共生社会の視点は大切であり、今後も居住地校交流や学校間交流の充実を図るなど、子どもたちにとってより良い共生社会となるよう、その実現に向けた取り組みを進めていく。

# 主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、14ページに掲載しています。

## 条例議案

■職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正／人事院規則に準じ、新型コロナウイルス感染症以外の新型インフルエンザ等の感染症対策業務に関し、防疫等業務手当に係る特例措置を講ずる。

■民生委員定数条例の一部改正／世帯数の増加等に伴い負担が増した民生委員の負担軽減を図るため、民生委員の定数を増員し、575人とする。

■病院事業の料金に関する条例の一部改正／診療報酬の改定に伴い、非紹介患者初診加算料及び再診患者加算料の額を改める。

## その他議案

■物品の取得（救助工作車他3

件）／救助工作車、小型動力ポンプ付積載車、指揮指令車、消防指令システム中間改修業務に係る機器一式を取得する。

■特定事業の契約（仮称）西部学校給食センター整備事業の契約を行う。

## 補正予算議案

■一般会計補正予算（第3号）

○民生費／子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費に対し3億5130万円の増

■一般会計補正予算（第4号）

○総務費／市税等過誤納金払戻金など約4億8446万円の増  
○民生費／住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費など1億4573万円の増

○衛生費／新型コロナウイルス感染症健康管理等派遣手数料、自宅療養者配食サービス委託料、子宮頸がん予防接種事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費など約10億4274万円の増

○商工費／大河ドラマ活用委託料

など約1億6181万円の増

○土木費／岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用事業費など約9590万円の増

○教育費／デジタルアートナイトフェスティバル開催委託料など約2億5730万円の増

■一般会計補正予算（第5号）

○衛生費／職員給与費等、新型コロナウイルス感染症行政検査委託料に対し約3億9326万円の増

## 令和4年度6月補正予算

(単位:万円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	12,952,295	296,286	13,248,581
特別会計	6,869,452	0	6,869,452
企業会計	5,680,693	0	5,680,693
合計	25,502,440	296,286	25,798,726

### ▶ 議会中継

定例会の開会日、一般（代表）質問、閉会日の内容はケーブルテレビミクスで中継しています。また、インターネットでも本会議の全日程をライブ中継と録画映像で配信しています。インターネット映像は、スマートフォンやタブレットPCなどのスマートデバイスでも視聴可能です。

### ▶ 委員会映像の配信

議案等の審査を行った常任委員会と特別委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。

### ▶ 会議録の公開

会議録は市立図書館、各支所、市政情報コーナー（市役所西庁舎1階）などで閲覧できる他、市議会ホームページでも閲覧することができます。

議会中継、委員会映像の配信、会議録の公開ともに、右のQRコードからご覧になれます。



# 委員会審査

4常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

## 総務企画委員会

### 一般会計補正予算（第4号）

#### 土木費

**問** 岡崎駅西口有料駐輪場の整備のため仮設駐輪場を整備予定だが、現在の西口無料駐輪場の利用台数をカバーするために、仮設駐輪場を更に確保する考えは。

**答** 整備予定の4カ所の仮設駐輪場は1200台程度の収容台数となる。東口駐輪場の駐輪可能台数と合わせると、令和3年度の利用状況から、駅利用者の駐輪台数は確保できていると考えている。まずは西口駐輪場の利用者に工事期間中は東口駐輪場を利用するように案内し、その後、東口駐輪場への利用転換の状況を見ながら、確保について検討していく。

## 福祉病院委員会

### 一般会計補正予算（第4号）

#### 衛生費

**問** HPVワクチンのキャッチアップ接種は住民票のある市町村で接種すると思うが、学生などで住民票を居住する市町村に異動していない人はどうするのか。

**答** 市外での定期予防接種では、県内と県外の場合で扱いが異なる。県内の場合には愛知県広域予防接種制度の対象となり、事前に接種を希望する医療機関に確認の上、保健所で手続きをして、発行された連絡票と本市の接種券を医療機関に持参すれば接種ができる。一方、県外の場合は、接種を希望する医療機関に確認後、保健所で手続きをして、発行された依頼書を医療機関に持参して接種をする。愛知県広域予防接種であれば医療機関での支払いが生じないが、県外の場合は、一旦医療機関に接種費用を支払い、後日、償還払いの手続きにより払い戻しを受ける。

## 文教経済委員会

### 一般会計補正予算（第4号）

#### 教育費

**問** デジタルアートナイトフェスティバルの概要は。

**答** 最新のデジタル技術により本市の豊富な歴史文化資産をアートコンテンツとして活用し、質の高いデジタルアートに触れる機会を作るとともに、夜間のまちなかににぎわいを創出し、ナイトタイムエコノミーを推進することを目的としている。夜間のアートイベントとして、岡崎城の天守閣や大手門などの公共空間にプロジェクションマッピングを投影し、歴史や文化を魅力的に発信する。開催日は未定だが、世界ラリー選権が開催される11月と、大河ドラマ「どうする家康」の放送がスタートしドラマ館がオープンすること、来年1月に時期を合わせることで、幅広い層の人が参加し、本市の歴史文化やデジタルアートに興味を持ってもらいたいと考えている。

## 建設環境委員会

### 一般会計補正予算（第4号）

#### 土木費

**問** 岡崎（城址）公園整備業務について、工事の内容と進め方は。

**答** 本工事は、来年1月から放送される大河ドラマ「どうする家康」に合わせて本市を訪れる観光客を始め、市内の道路事情に不慣れな人を岡崎公園の駐車場まで円滑に導くためのツールの一つとして、岡崎公園周辺の国道1号ほか、主要地方道岡崎足助線及び市道に設置している経年劣化した7カ所の案内標識の更新を行うものである。道路の交通規制を掛け、高所作業車等を使用して掛け替えを行うことか、交通量が非常に多い国道1号では、夜間での作業を計画している。



※1 キャッチアップ接種：積極的勧奨の差し控え期間に定期接種を逃した世代に対して、対象年齢を超えて接種を行うこと  
※2 ナイトタイムエコノミー：日没時間の18時頃から翌朝6時頃までの夜間に行われるさまざまな経済活動

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受け、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

## 一般会計補正予算

### 自民清風会

「オクオカ竹プロジェクトとして協議会を立ち上げ、本来廃棄する伐採された竹を加工し商品化することで、地域資源として有効活用し、もうかる仕組みをつくる。竹の使い道を見いだし、竹林を適正に管理していくことは、竹害を無くし、雑木の生態系を守る意味でも大変有意義であると考えている。当初の3年は交付金を受ける見込みだが、協議会に参画する人たちの取り組みを竹の伐採を通じて地域づくりの活動につなげ、交付金に頼らない自走体制の構築を目指す。中山間地域の活性化、水源地の環境保全の観点で関係者の思いを一つにするストーリーをつくり、共感を得ながら販路を広げられた」と意見を述べ、**賛成**した。

## 民政クラブ

「小中学校においては感染症対策を講じながら、最大限に学びを保障しなければならぬ。そのために必要な人的体制の強化を図る。学習指導員は、授業に参加して学習指導や不安などを抱えた児童生徒に対する支援を行う。また、教員業務支援員は、直接児童生徒に関わることはないが、感染症対策に伴い増加した業務を教職員に代わって行う。両者の働きにより、教職員の負担軽減につながり、子どもと接する時間が増え、よりきめ細やかな指導ができることを期待する。特に学習指導員は、コロナ禍のみならず、今後の児童生徒にとつての必要な人材と考えるので、効果・検証をしっかりと行われない」と意見を述べ、**賛成**した。

## チャレンジ岡崎

「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業の採択を受け、体験型ツアーの造成、企業間交流を行う地域観光研修ツアーなどを企画すること。ストーリー性のある商品を提供すること

で、本市が長期滞在型の観光地となることへの推進が期待される。更に本市の観光の課題である観光夜間消費額の拡大を促進することも視野に入ってくる。また、副次的な効果で、新たな住民や伝統の担い手となる人材を引き寄せる可能性も期待できるものであると考える」と意見を述べ、**賛成**した。

## 公明党

「国の地方創生推進交付金を活用して本市のECサイト<sup>※2</sup>を立ち上げ、市内事業者に販売の場を提供する。商品の良さが伝わるように生産者の思いや開発までの苦労など、ストーリー性を持って消費者に提案すること、『どうする家康』の放送を機に本市を訪れた観光客などに、更に岡崎ファンになってもらいりピーターを増やすことを目指す。様々なサイトがある中で本市のECサイトを選んでもらえるよう、サイトを目立たせる工夫や魅力ある商材の発掘をされたい」と意見を述べ、**賛成**した。

## 無所属・日本共産党岡崎市議会

「現在の岡崎駅西口無料駐輪場を

撤去し、仮設駐輪場を整備する。駐輪場利用者の8割以上が通勤や通学といった生活のために利用しており、市民の暮らしが苦しくなっている時に無料駐輪場を撤去しないで欲しいという声にこたえていない。事業計画ありきで期限が決められ、仮設駐輪場が1200台しか用意されていないのに、見切り発車的に進めようとしている。事業計画の検証が不十分であり、利用者を無視した計画である」と意見を述べ、**反対**した。

## 無所属・大原昌幸

「子ども食堂などで食品を保管するための冷蔵庫や保管庫などの購入費用を支援する。子ども食堂の活動として、地域住民などが温かいご飯を作り提供することで、困っている子どもたちや寂しい思いをしている子どもたちの支援につながっている。国によると7人に1人の子どもの貧困状態にあると言われており、貧困の連鎖を防ぐ事業の一つとしても必要である」と意見を述べ、**賛成**した。

※1 オクオカ：本市の中山間地域を指す愛称（岡崎の奥屋敷＝オクオカ）  
 ※2 ECサイト：インターネット上で商品やサービスを販売するウェブサイト

(○賛成、×反対)

審議結果 6月定例会		採決結果	会派別賛否			
			自民清風会	民政クラブ	チャレンジ岡崎	公明党
件名						
<b>市長提出議案</b>						
承2	市税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○
55	工事請負の契約（美術博物館機械設備改修工事（第1期））		○	○	○	○
56	物品の取得（救助工作車）		○	○	○	○
57	物品の取得（小型動力ポンプ付積載車）		○	○	○	○
58	物品の取得（指揮指令車）		○	○	○	○
59	物品の取得（消防指令システム）		○	○	○	○
60	特定事業の契約（（仮称）西部学校給食センター整備事業）		○	○	○	○
61	市税条例等の一部改正		○	○	○	○
62	議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○
63	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正		○	○	○	○
64	民生委員定数条例の一部改正		○	○	○	○
65	病院事業の料金に関する条例の一部改正		○	○	○	○
66	令和4年度一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○
67	令和4年度一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○
68	令和4年度一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○
69	令和4年度一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	○
同3	公平委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○
諮1	人権擁護委員の推薦	異議なし	○	○	○	○
<b>請願</b>						
請3	インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出	不採択	×	×	×	×
請4	あらゆる国の難民の円滑な受け入れを政府に求める意見書の提出		×	×	×	×
<b>陳情</b>						
陳3	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出					
陳4	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出					
陳5	直ちに1日8時間の労働で働けば人間らしく暮らせる社会を実現するとともに、1日7時間労働制をめざすことを求める意見書の提出					
陳6	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出					
陳7	地方財政の拡充を求める意見書の提出					
陳8	福祉職員や保育で働く職員の人材定着・確保のため職員配置基準と報酬・公定価格を抜本的に改善し、離職しない福祉・保育職場の実現を求める意見書の提出					
陳9	消費税率5%への引き下げと大企業や富裕層への適正な課税、インボイス制度の中止を求める意見書の提出					
陳10	「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出					意見を付して議長に報告することとした。

## ●委員会調査報告（3月定例会終了後～5月）

常任委員会			特別委員会		
<b>総務企画</b>			<b>MICE検討</b>		
4月25日	岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用事業	議会大会議室	4月26日	中央総合公園及び龍北総合運動場の現状	議会大会議室
<b>福祉病院</b>			5月10日 金沢市文化スポーツコミッション 金沢市		
4月20日	第4次岡崎市地域福祉計画	議会大会議室	5月11日 前橋スポーツコミッション 前橋市		
<b>文教経済</b>			<b>ゼロカーボンシティ推進</b>		
4月18日	コロナ禍における経済対策	議会大会議室	5月11日	脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」	川崎市
5月23日	「どうする家康」に関する取組	議会大会議室	5月12日	マチごとエコタウン所沢の実現に向けた取組	所沢市
<b>建設環境</b>			<b>議会広報委員会</b>		
4月19日	東岡崎駅周辺地区整備事業	議会大会議室	4月5日	1 議会だより第212号の発行 2 意見交換会	議会大会議室
<b>議会運営委員会</b>			4月11日	1 議会だより第212号の発行 2 意見交換会	議会大会議室
5月9日	オンライン委員会条例改正	宇都宮市	5月11日	高校生との意見交換会	静岡市
5月10日	議会BCP（業務継続計画）	江戸川区	5月12日	意見交換会	富士見市
5月24日	6月定例会の運営等	議会大会議室			

# おかざき未来“夢”プロジェクト 「健康寿命延伸へ!!」ラウンドテーブル

6月25日(土)に岡崎市議会・愛知学泉大学の共催で、議員と学生が健康寿命延伸について意見交換を行いました。

大学生との意見交換会の開催は、平成30年10月の岡崎女子大学、令和元年10月の愛知産業大学、令和2年2月の人間環境大学に続き4回目の開催です。

## 第1部

岡崎市議会から「健康寿命延伸の取組み 介護予防はフレイル予防から」を報告しました。



## 第2部

愛知学泉大学准教授の岡本康子氏から「健康寿命延伸をめざして あなたはどんな100歳を迎えたいですか?」についての発表がありました。



## 第3部

### 意見交換会

岡本康子氏によるコーディネートの下で、学生がグループリーダーとなって議員と活発な意見交換を行いました。



### 発表

意見交換会の結果をまとめ、各グループで話し合った内容について、学生の皆さんが発表を行いました。

学生の皆さんから頂いた貴重なご意見やアンケート結果については、今後の市政に反映できるように、市議会として政策提案等につなげていきたいと考えています。



# 令和3年度政務活動費収支報告

本市議会では、収支報告書・視察報告・領収書など、全て市議会ホームページで公開しています。また、市役所西庁舎1階の市政情報コーナーで閲覧することもできます。

ご不明な点は、議会事務局総務課（☎23-6382）までお問い合わせください。



## 9月定例会予定

9月定例会の  
 請願・陳情提出締め切りは、**8月17日水**です。

月	火	水	木	金	土	日
8/29	30	31 開会、市長提案説明、議案説明 一般質問	9/1 一般質問	2 一般質問	3	4
5 一般質問	6 議案質疑、決算特別委員会設置、委員会付託 決算特別委員会	7	8	9	10	11
12 決算特別委員会	13 決算特別委員会 建設環境分科会 建設環境委員会	14 決算特別委員会 福祉病院分科会 福祉病院委員会	15 決算特別委員会 文教経済分科会 文教経済委員会	16	17	18
19	20 決算特別委員会 総務企画分科会 総務企画委員会	21	22	23	24	25
26 決算特別委員会	27	28 議会運営委員会	29	30 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	10/1	2

### 9月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。

変更する場合は、岡崎市議会ホームページでお知らせいたします。

### 傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらくの間、本会議及び委員会の傍聴はご遠慮ください。

議会中継は、インターネット等でご視聴いただけます。詳しくは11ページをご覧ください。

### 議会ダイヤル ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364
公 明 党	☎23-6396
無所属	日 本 共 産 党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6971・FAX23-6538）までお問い合わせください。